

平成 25 年度東三河地域問題セミナー

第 1 回 公 開 講 座 の ご 案 内

東三河地域問題セミナー（第 1 回公開講座）を下記のとおり開催いたしますので、ご参加ください。

1. 日 時 平成 25 年 2 月 5 日（火）午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分
2. 場 所 豊橋市民センター（カリオンビル） 6 階 多目的ホール
（住所：豊橋市松葉町二丁目 63 番地、電話：0532-56-5141）
3. テーマ 「科学技術と地震防災：来るべき南海トラフ巨大地震に備えて」
名古屋大学減災連携研究センター
エネルギー防災寄付研究部門 教授 武村 雅之 氏

「東海地方における歴史的地震・津波について」
愛知大学 名誉教授（地理学） 藤田 佳久 氏

4. 参加費 無料

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震では、地震のみならず津波に対し日頃から意識していたか、迅速に行動ができたかが生死を分ける要因となったと言われています。

一方、東三河地域を含む太平洋沿岸地域では、東海・東南海地震の発生が危惧されております。現在は、東北地方太平洋沖地震の教訓から住民の津波に対する関心が高まっていますが、時間の経過とともに、津波被害に対する意識が低くなる可能性があります。過去 100 年～150 年ごとに発生する巨大地震や津波に対して、住民自らが日頃から意識し災害時に対応していくために、地域としてなにをどう取り組んでいくかが大きな課題となっています。

今回は、いつ起こるかわからない震災に対し『風化』をどう防げばいいのかという問題意識にたち、その取り組みを行っている「名古屋大学減災連携研究センター教授 武村雅之様」と、「愛知大学名誉教授（地理学）藤田佳久様」にご講演頂くことと致しました。武村様は、歴史地震研究会の会長であり、長年にわたり関東大震災など過去の災害の研究を行うだけでなく、得られた歴史災害を地域に発信する組織『中部「歴史地震」研究懇談会』を設立しました。藤田様は、日本の山村研究の第一人者であり、東三河地域を中心に広範なフィールドワークを实践され、歴史災害等の研究成果を公表するなど地域に還元される活動に取り組まれています。

東三河地域でも、住民一人一人が、後世にどう歴史を伝えればいいのかという取り組みが求められていると考えております。是非、皆様、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆出欠のご連絡を 1 月 30 日（水）までに F A X もしくは E-mail にてお送り下さい。

公益社団法人 東三河地域研究センター 行 F A X : 0532-57-3780 E-mail : webmaster@hrrc.jp

東三河地域問題セミナー（第 1 回公開講座）出欠票

ご出席 ご欠席

お問合せ(公社)東三河地域研究センター 住所 愛知県豊橋市駅前大通二丁目 46 番地 TEL 0532-21-6647

団体名・会社名		
連絡先	住所〒 TEL FAX E-Mail	住所〒 TEL FAX E-Mail
お役職名		
お名前		